

Business  
Report

# へんしん

第43期

[平成25年4月1日～平成26年3月31日]



除染作業向け路面清掃車  
リムーバー3000 (RT-07BJ)



高知県認定  
環境配慮型事業所

兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



代表取締役会長  
山口 隆士



代表取締役社長  
佃 維男

## CONTENTS

- 1 ごあいさつ
  -
- 2 財務ハイライト
  -
- 3~4 財務諸表
  -
- 5~6 事業概要
  -
- 7~8 製品トピックス
  -
- 9 トピックス
  -
- 10 会社情報

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、第43期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

### 営業の概況等

当期における我が国経済は、企業収益に改善が見られ、全般として景気の緩やかな回復基調が継続しました。

当期はインフラ整備事業の加速に加え、工場関係向けやレンタル向けの活発な需要に支えられ、主力製品である強力吸引作業車・高圧洗浄車が期初から高水準の生産活動を維持しました。収益性も更に向上し、結果として株式上場以来最高の売上高・利益を計上した前期の数値を更に上回ることができました。

業積(数値)につきましては、前期に比べ受注高は495百万円増の7,946百万円(前期比6.6%増)、売上高は571百万円増の7,874百万円(前期比7.8%増)となりました。収益面につきましては、営業利益は116百万円増の557百万円(前期比26.4%増)、経常利益は102百万円増の590百万円(前期比20.9%増)、当期純利益は55百万円増の349百万円(前期比18.7%増)を計上することとなりました。

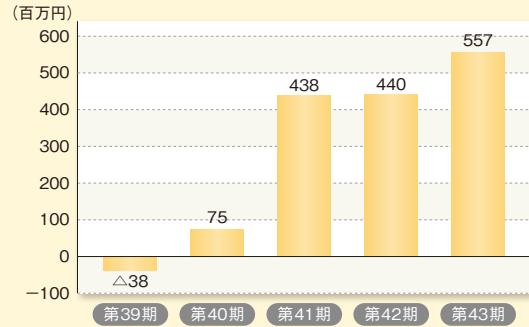
株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

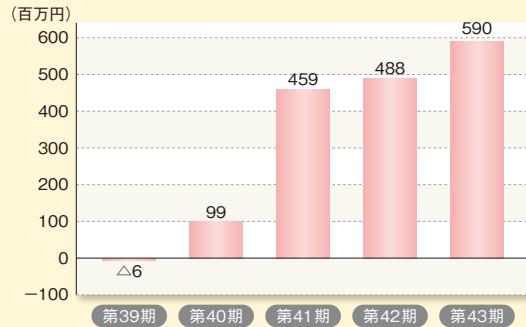
## 売上高



## 営業損益



## 経常損益



## 当期純損益



## 1株当たり当期純損益



## 1株当たり純資産



 =平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式1.3株の割合で株式分割を行っております。第41期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純損益及び1株当たり純資産を算定しております。

## 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当 期 末 (平成26年3月31日)	前 期 末 (平成25年3月31日)	増 減 (△印減)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	4,614,097	3,755,635	858,461
固定資産	2,166,443	2,057,668	108,775
有形固定資産	1,864,762	1,786,480	78,282
無形固定資産	75,562	55,912	19,649
投資その他の資産	226,118	215,274	10,843
資産合計	6,780,540	5,813,303	967,237
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	3,247,961	2,545,258	702,703
固定負債	244,599	240,847	3,751
負債合計	3,492,560	2,786,105	706,454
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	3,286,992	3,023,077	263,914
資本金	313,700	313,700	—
資本剰余金	356,021	356,021	—
利益剰余金	2,619,056	2,355,129	263,926
自己株式	△1,785	△1,773	△11
評価・換算差額等	987	4,120	△3,132
純資産合計	3,287,979	3,027,197	260,782
負債純資産合計	6,780,540	5,813,303	967,237

**資産の部**

総資産は、前期末に比べ967百万円増加し、6,780百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加400百万円及び売上債権の増加431百万円等によるものであります。

**負債の部**

負債は、前期末に比べ706百万円増加し、3,492百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加505百万円及び未払法人税等の増加118百万円等によるものであります。

**純資産の部**

純資産は、前期末に比べ260百万円増加し、3,287百万円となりました。これは主に、剰余金の配当85百万円はありましたが、当期純利益349百万円を計上できたこと等によるものであります。

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

**損益計算書**

(単位：千円)

科 目	当 期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	前 期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	増 減 (△印減)
<b>売上高</b>	<b>7,874,221</b>	<b>7,302,455</b>	<b>571,766</b>
売上原価	5,949,714	5,614,814	334,900
売上総利益	1,924,507	1,687,641	236,866
販売費及び一般管理費	1,367,307	1,246,927	120,379
<b>営業利益</b>	<b>557,200</b>	<b>440,713</b>	<b>116,486</b>
営業外収益	34,265	48,518	△14,252
営業外費用	793	681	112
<b>経常利益</b>	<b>590,671</b>	<b>488,550</b>	<b>102,121</b>
特別利益	57	1,923	△1,865
特別損失	1,767	77	1,689
<b>税引前当期純利益</b>	<b>588,962</b>	<b>490,395</b>	<b>98,566</b>
法人税、住民税及び事業税	273,775	175,363	98,411
法人税等調整額	△34,260	20,667	△54,928
<b>当期純利益</b>	<b>349,447</b>	<b>294,364</b>	<b>55,082</b>

**売上高**

当社主力製品の強力吸引作業車が前期比7.7%増の5,187百万円、汚泥吸引作業車が24.8%減の57百万円、高圧洗浄車が23.8%増の1,010百万円等となり当期売上高は、7,874百万円となりました。

**当期純利益**

インフラ整備事業の加速に加え、工場関係向けやレンタル向けの活発な需要により受注が好調で、収益性も更に向上し、当期純利益は株式上場以来最高を記録した前期を更に上回る349百万円を計上することができました。

**キャッシュ・フロー計算書**

(単位：千円)

科 目	当 期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	前 期 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	増 減 (△印減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>712,396</b>	<b>75,684</b>	<b>636,712</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△399,554	△100,256	△299,298
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90,789	△126,105	35,316
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	923	△923
現金及び現金同等物の増減額	<b>222,052</b>	△149,754	<b>371,807</b>
現金及び現金同等物の期首残高	<b>619,762</b>	<b>769,516</b>	△149,754
現金及び現金同等物の期末残高	<b>841,815</b>	<b>619,762</b>	<b>222,052</b>

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。  
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

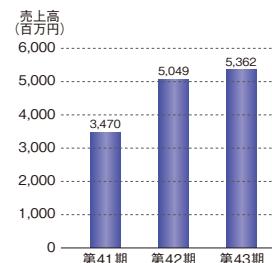
**強力吸引作業車・汚泥吸引作業車**

売上高 **5,362**百万円

インフラ整備事業の加速に加え、工場関係向けの需要が引き続き好調に推移し、また東日本大震災からの復旧作業等へのレンタル向け需要もあり、受注・売上ともに前期より大幅に増加しております。

〈用途〉

- 廃棄物の収集運搬
- 高深度地下の汚泥回収
- 粉粒体の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SR-16BWJP)



空冷式強力吸引作業車 (NS-06CVP)

**新製品 / 部品販売・修理等**

売上高 **1,240**百万円

新製品やその他の区分に属さない製品及び部品販売・修理などが含まれています。  
 部品販売は堅調に推移し、受注・売上ともに前期に比べ増加となりました。

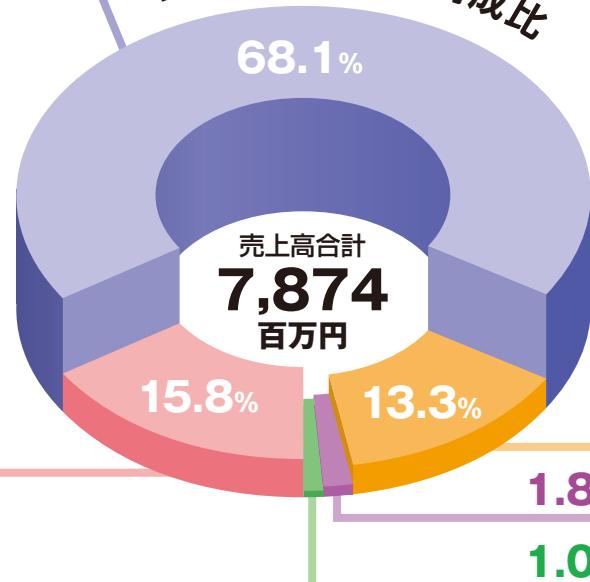


水循環式排水管清掃車 (CS-08DSPJ)



部品：ルーツブロウ

**製品別売上高 構成比**



**高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車・定置型高圧洗浄機**

売上高 **1,047**百万円

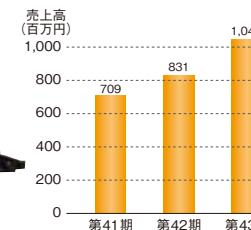
東日本大震災からの復旧作業向け等、前期に続き好調で受注・売上ともに増加しております。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-04W1825A)



**粉粒体吸引・圧送車**

売上高 **143**百万円

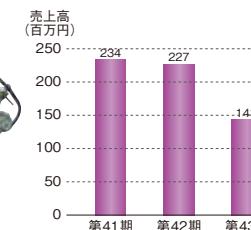
製鉄・工場関係での需要が主体で、売上減となりました。

〈用途〉

- 石灰・セメント等粉体原料の回収・リサイクル
- 焼却灰の回収運搬



粉粒体吸引・圧送車 (SP-20BVYTA)



**定置型吸引機**

売上高 **79**百万円

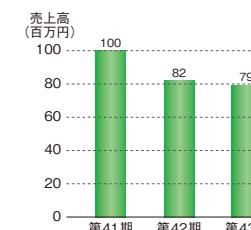
当期、受注は横ばいであったものの、売上は前期より減少しております。

〈用途〉

- 塗装プラストの回収
- 工場内清掃
- フライアッシュの回収



定置型吸引機 (EL-100SV)



**汚泥脱水機 (車)**

(当期に売上はありませんでした)

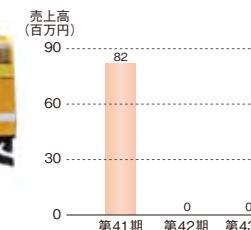
多様な汚泥の脱水が可能な遠心脱水方式やベルトプレス他、ニーズに合った脱水システムが可能です。

〈用途〉

- 建設汚泥の脱水・リサイクル
- 中間処理施設での脱水
- 生コン汚泥の脱水・リサイクル



トンネル洗浄水処理車 (SP-04DB)



## 除染作業向け路面清掃車 リムーバー 3000 (RT-07BJ)



『リムーバー3000』は当社のコア技術である強力吸引と高圧洗浄をマッチングさせた除染作業向け路面清掃車です。

低速走行しながら、車両後方に設けた洗浄吸引アタッチメントで路面への高圧水噴射、洗浄汚水の吸引回収を行います。4基の円盤状洗浄吸引アタッチメントにはカバーを取り付け、周囲への汚染水飛散を防ぎました。

運転席に設置されたモニターから作業の様子を確認できるため、一人で安全に効率的な作業が可能です。



高圧水噴射状態



除染作業の様子

## 可倒式リアバンパーを搭載車両 空冷式強力吸引作業車 (NS-16CVP)



現在の吸引作業車には、RUP (突入防止装置: リヤバンパー) を規定寸法で取付しなければなりません。このため、作業車が吸引物をピット等に投入する場合、リヤバンパーが障害になることが有ります。今回、この問題を解決するため、吸引作業車に可倒式リアバンパーを取付し作業性の向上を図りました。



## 高性能・大容量化 3トン高圧洗浄車 (JS-03W1518D)



3トン車の架装でありながら、能力は150L / min・18MPaです。当社従来品と比較した場合、水量は約10%、圧力は約30%もの高性能化を実現しました。また4トン車と同等のタンク容量(3.0 $\text{m}^3$ )の確保にも成功し、都市部の狭い場所でも容易に作業が行えます。

## 南アジア向けに 高圧洗浄車8台、強力吸引作業車2台を納入

南アジアの新興国では下水・排水の整備が遅れており、市内中心部でも大雨が降ると道路が冠水するなど、浸水被害が慢性化しており、衛生上の問題も懸念されています。今後のさらなる人口増加や上水道整備に伴い、下水・排水量も増えることが予想され、下水・排水能力の改善が必要となっております。今回、ODAプロジェクトにより、下水・排水管清掃用機材として、パキスタン（ファイサラバード）に強力吸引作業車と高圧洗浄車を納入いたしました。



納入した製品 計10台



納入都市

## 名古屋支店移転（平成26年3月24日）

旧事務所は過去3度の浸水被害を受けました。新事務所は周辺地域に比べて高所にあり、水害リスクは低減されております。今後もより一層の新規顧客開拓、既存顧客サービスの向上、従業員の安全確保に努めてまいります。

住所：〒462-0013 名古屋市長区東味鏡1-702  
電話：(052) 902-5538 FAX：(052) 902-5525



名古屋支店

## 会社の概要

設立年月日 昭和46年9月1日  
 資本金 313,700,000円  
 従業員数 171名  
 事業内容 強力吸引作業車、高圧洗浄車等  
 環境整備機器の製造販売

## 役員

代表取締役会長 山口 隆士  
 代表取締役社長 佃 維男  
 常務取締役 山本 琴一  
 取締役 柳井 仁司  
 常勤監査役 中村 修身  
 社外監査役 西岡 啓二郎  
 社外監査役 平井 雄一

## 事業所

本社 〒781-5101 高知市布師田3981-7  
 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211

明見工場 〒783-0007 高知県南国市明見913-11  
 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167

技術センター 〒783-0007 高知県南国市明見898-20  
 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032

東日本支社  
 東東京支店/ 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1  
 西東京支店 アンソレイエ・オオタ6F  
 TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333

東北・北海道支店 〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F  
 TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995

札幌営業所 〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F  
 ※平成26年6月 事務所が2Fから5Fへ移動  
 TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860

名古屋支店 〒462-0013 名古屋市中北区東味鏡1-702  
 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525

西日本支社  
 大阪支店 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43  
 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350

中四国支店 〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F  
 TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133

福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F  
 TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

## 株式の状況

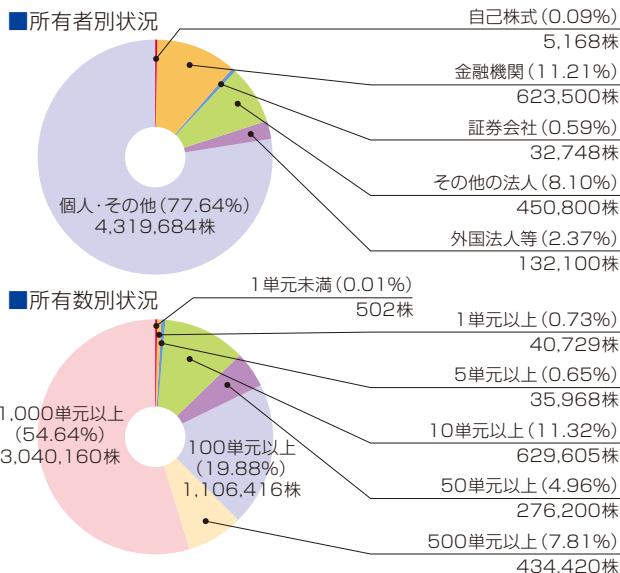
会社が発行する株式の総数 17,576,000株  
 発行済株式の総数 5,558,832株  
 (自己株式5,168株を除く)

株主数 794名

### 大株主

株主名	持株数	持株比率
兼松エンジニアリング従業員持株会	539,300株	9.70%
山本 琴一	425,600株	7.66%
三谷 浩 溢	425,360株	7.65%
株式会社扇港鋼業所	326,300株	5.87%
山口 隆 士	314,932株	5.67%
山本 吾 一	262,860株	4.73%
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	262,000株	4.71%
柳川 裕 司	197,860株	3.56%
株式会社四国銀行	152,100株	2.74%
坂本 洋 介	133,848株	2.41%

## 株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

### 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

### 株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

**K&E 兼松エンジニアリング株式会社**

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 高知市布師田3981番地7 TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211  
<http://www.kanematsu-eng.jp/>

**100**  
古紙配合率100%再生紙  
PRINTED WITH  
**SOY INK**  
このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。